

令和6年度

児童発達支援自己評価表【職員向け】

事業所名:児童支援センター さんぽ

公表:令和 6年 6月 29日

この児童発達支援自己評価表は児童支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも えない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	2		<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数によって部屋を分けて活動している。 ・個別、部屋を分けて活動する事で、子どもたちも落ち着くようになった。 ・人数によっては狭い。スタッフが足りていれば2グループに分けての活動が望ましい。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・その日の利用児によっては手薄になる事もあるが、基本的には基準よりも多めに配置している。 ・子どもたちの人数や様子に合わせて配置している。 ・スタッフと利用児1対1が必要な児が多い為、不足していると感じている。 ・子どもの特性に応じ、基準以上の人数を配置し、安全に過ごせるよう配慮している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11			<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーションを用いて空間を区切り、刺激を遮断している。机の上に登ったりという行動が見られた際には、机を排除したりと環境を工夫している。 ・手すりや踏み台を配置している。 ・バリアフリーではないが、トイレや洗面所等は分かり易くなっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・プレイマットは取り換える必要がある。 ・利用時が帰った後の清掃が不十分。玩具やドアノブ、手すりなど児が触れたであろう物は消毒が必要。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11			<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング等で話し合う場を設けている。 ・月に一度の個別支援会議や毎支援後に振り返りの時間を設けその後の支援に繋げている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11			<ul style="list-style-type: none"> ・評価は実施しているため、その後の結果を基に改善点等を検討する必要がある。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11			<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・PT,ST等により、指導、評価を頂いている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、研修を実施している。 ・毎月、職員会議の中でも研修を実施している。 ・外部講師を招いての研修も実施している。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11			<ul style="list-style-type: none"> ・KIDS検査を年に2回、実施している。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11		一人ひとりに合わせた内容を見発管が作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11		・毎月、個別支援会議を行い、計画の見直しや評価等を行っている。 ・短期目標などパートさんにも周知されている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11		・毎月、活動内容はスタッフ間で話し合いをし決定している。 ・ミーティングの中で、どんな活動を入れるか意見を出し合い決めてみる。 ・1か月ごとに活動内容を変えている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11		・季節の行事等も取り入れながら工夫している。 ・新しいもの、面白そうな物は取り入れる。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	11		・一人ひとりに合わせた支援内容で作成している。 ・支援会議の中でも、それぞれの評価、見直しを行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	1	・簡単な打ち合わせはできているが、もう少し時間を取り細かく打ち合わせをできるとより良い。 ・前日、当日行っている。 ・前日に簡単に支援内容を確認しているがパートさん達とは確認がきちんと出来ていないため、工夫が 必要
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11		・毎日スタッフ間でミーティングを行い、振り返りを行っている。 ・ミーティングで各自気づいた事や支援方法など話し合っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11		・支援記録を用いて行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11		・モニタリングを行い、見直しを行っている。
	関係機関や保護者との	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11		・保育園や医療機関と連携し、支援に繋げている。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	11		・細めに情報共有を行い、会議等を通して連携を図っている。 ・医療的ケア児の病院受診の日程や診察内容、検査内容について保護者より聴取。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	11		・指示書等を用いて、すぐに取りれるような体制を作っている。 ・医療的ケア児緊急マニュアルを作成し、目につく場所に設置している。医療機関、保護者との連絡体制を整備。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11		・送迎時や会議等で情報共有を行っている。
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11		・就学支援シートを用いて、情報共有を行っている。

連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1	・他事業所が開催する研修には参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	1	・外出や地域の行事等で接する機会はある。 ・今のところそのような機会は無い。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	10	1	・地域の行事に参加する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11		・連絡帳や送迎時、モニタリング等を等を通し様子を伝えたり、情報共有を行っている。 ・送迎の際や療育後に電話を入れてこまめに連絡を取る。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	11		・必要に応じて助言等を行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11		・契約時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11		・モニタリング等で計画についての説明を行い、同意を得たうえで、支援に当たっている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11		・連絡帳や送迎時、また必要に応じては電話や面談等で対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	1	・昨年は就学についての説明会と保護者会を行った。 ・今のところ開催はされていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11		・LINEや電話、連絡帳など様々なツールを使い、対応している。 ・相談などがあつた際にはスタッフ同士で話をして、状況などを確認し合い、保護者へ連絡を入れている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11		・毎月、活動の様子を文章と写真付きで予定表を配布している。 ・ホームページや会報にて通達。Facebookでも様子を発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11		・SNS等では、配慮が必要な子どもに対しては、顔を隠して対応している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11		・連絡帳の表示に注意書きを貼り、個人情報の取扱いに注意している。 ・文字で残した方が良い方へはプリント、連絡帳、LINE等を用いている。電話が良い方は電話で対応など工夫している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11		・地域の祭り等に積極的に参加し、地域交流を図っている。 ・月に2回、ほわ〜つとの会さんに来ていただいている。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	1	・保護者に周知していく必要がある。避難訓練は年に一度、消防士立会いの下、行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11		・毎年、避難訓練を行っているが、回数を増やしても良いと思う。 ・消防士指導による消火、避難訓練を実施している。 ・備品のチェック 管理を行っている

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	11		<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシートを用いて確認している。 ・看護師を中心とし、全員で把握。共通理解している。 ・看護師が常駐しており、利用児の既往歴など周知している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間でダブルチェックを行ったり、周知できるように書面にして部屋に掲示している。 ・一覧表のして、療育室、台所に貼りだす。注意が必要な子どもの顔写真は赤色にする等色分けをして工夫している。 ・アレルギー等による食材が無い、スタッフが最終確認まで行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを作成し、回覧にて回し、周知している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止に基づく研修や、毎月虐待について話し合う場を設けている。 ・虐待防止委員会を設置している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず行う場合には、保護者に確認を行うと共に支援計画にも記載している。